

電子カルテ管理課

電子カルテ管理課課長 長山信夫

2020年の人事異動、及び部署変更は下記の通りです。

3月 1日 中田規人 総務課へ異動

7月 1日 システム管理室は電子カルテ管理課へ名称変更。

電子カルテ管理課 長山信夫、浜田真次、葛目悠輔、松村稔、横川晃康、
中村亮太、山崎昌浩

小原健稔、大野史晶 新設の ICT 推進課へ異動。

主な活動

■電子カルテシステム更新

2020年9月の電子カルテシステム更新を行いました。

今回の電子カルテシステム更新のトピックは下記の通りです。

- ① 現行バージョンの継続使用。NEC MegaOakHR R8.0
- ② 物理サーバから仮想サーバ環境(HYPER-V)へ。
- ③ 端末の入替 基本ソフト：Windows7 32bit→Windows10 64bit。
- ④ PDA 更新 基本ソフト：WindowsCE→ANDROID。
- ⑤ PDA 版 HR ジョイント導入。
- ⑥ ATOK Medical プログラム バージョンアップ。
- ⑦ ログイン履歴より使用頻度の少ない端末を削減。
- ⑧ ウィルス対策ソフトの乗換：ウィルスバスター→ESET
- ⑨ グループウェア サイボウズガルーン5へバージョンアップ。
- ⑩ プリンタ更新

モノクロページプリンタ、カラーページプリンタ、ドットインパクトプリンタ。

主な変更点は下記の通りです。

- ・ゼロックス複合機が設置してある場合には、活用する事で台数削減。
- ・ドットインパクトプリンタは OKI データ製へ入替。

⑪ ネットワーク更新

- ・イントラ系とインターネット系ネットワーク機器統合
VLAN を活用する事で、ネットワーク機器の統合を行いました。
- ・イントラ系無線ネットワークセキュリティ強化
イントラ系無線ネットワークに認証装置を追加する事でセキュリティ強化を行いました。
- ・無線アクセスポイント速度向上
今回の更新で5GHz帯が使用できる無線アクセスポイントへ更新しました。
- ・ネットワーク機器更新費用の抑制
更新費用を抑える為に他病院の構築事例やメーカーの構築事例を参考とし、CISCO 製ネットワークから NEC 製へ変更しました。

■外部メールサーバ更新

これまで独自の仮想サーバ上にメールサーバを構築していましたが、今後の保守運用を考慮してレンタルサーバ上で仮想サーバを構築、メールサーバを稼働しました。

■内科、外科細分化

7月1日 内科、外科を下記の通り細分化対応しました。

表1.

網掛けは追加診療科

科CD	名称
04	内科
13	循環器内科
14	消化器内科
09	脳神経内科
73	呼吸器内科
74	糖尿病・リウマチ科
76	血液内科
77	腎臓内科
78	一般内科
63	感染症内科
79	総合診療科
01	外科
02	整形外科
03	脳神経外科
07	心臓血管外科
60	消化器外科
05	泌尿器科
12	形成外科
08	麻酔科
66	一般外科
61	呼吸器外科

■仮想サーバ構築4期

昨年に引き続き、サーバ環境の仮想化を行っています。今年は下記サーバを仮想サーバ環境へ移行しました。

表2.

システム名	構築メーカー	備考
透析管理システム	ノーザ	
輸血管理システム	バイオラッド	
動画像サーバ	DGS メディカル	
リハビリ管理システム	キーウェア九州	
心カテ動画システム	キャノン	

■インターネット環境の見直し

コロナ禍でインターネット回線を利用したリモート会議を活用するシーンが多くなりました。この影響で昼頃インターネット回線が接続しづらい状況を把握しました。従来の2回線から3

回線での負荷分散接続で状況改善を図っています。

■オンライン資格確認

2021年3月開始予定のオンライン資格確認システムについて、近森病院、近森リハビリテーション病院、近森オルソリハビリテーション病院導入の見積りをメーカ依頼、補助金や導入に向けての情報収集を行いました。

障害報告

重大な障害は下記の通りです。

・ヤギー文書管理システム インターフェースサーバ1号機障害

3月8日(日) 17:46~21:40 ヤギー文書管理システムのインターフェースサーバ停止により、生理検査ワークフローや電子カルテ記事への登録通知が停止した。

・PACS 画像ビューア表示遅延

3月10日(火) 11:15~13:00 シンスライスサーバの一部アプリケーションにてメモリリークが発生して画像ビューアの表示遅延が発生しました。

・栄養管理システム (NAPROS) 障害

4月2日(木) 5:56~9:30 ORACLE 監査ログが自動拡張上限32GBに達し、栄養管理システムを起動できなくなりました。

・ヤギー文書管理システム インターフェースサーバ3号機障害

5月22日(金) 4:05~14:00 患者取り込みツールが ORACLE の OS 認証に失敗した事により、患者基本情報が連携できない不具合がありました。

・ヤギー文書管理システム インターフェースサーバ1号機障害

5月23日(土) 0:14~8:38 インターフェースアプリケーションがメモリ不足となり、生理検査オーダー情報などを処理できなくなりました。

・ヤギー文書管理システム インターフェースサーバ3号機障害

8月22日(土) 17:27~24日(月) 12:25 患者取り込みツールのエラーにより、新規の患者基本情報が連携できない不具合がありました。

総括

昨年に引き続き、部門システムのサーバ更新や保守の固定費を抑える手段として、仮想サーバ環境へ移行を行っています。

9月には電子カルテシステム、及び端末・プリンタ・ネットワーク機器を更新しました。

今回の電子カルテシステム更新は、現行バージョンの継続使用とした事で、新機能の運用検討や操作説明を省くことができ、病院職員の負担は少なかったと考えています。また、新サーバへの切り替え時には、大きなトラブルはありませんでした。

部署の体制について、強力な ICT 推進が求められるようになり、7月1日付でシステム管理室の小原室長補佐と大野室員が新設の ICT 推進課へ異動となりました。また、システム管理室は電子カルテシステムを中心としたイントラネット側を担当することとなり、同日付で名称を電子カルテ管理課へと変更されました。